

# 令和元年7-9月期中小企業景気動向調査結果

## 業況DIは7.6ポイントの低下

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和元年7-9月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

### 1. 調査要領

- ・調査時期：令和元年8月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業2,000社
- ・回答数（率）：1,003社（50.2%） ※詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象へ郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）※による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	366	66.5%
建設業	250	116	46.4%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	521	43.4%
合計	2,000	1,003	50.2%

### 2. 調査結果

#### (1) 総合

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	▲12.5	▲17.1	▲20.3	▲27.9	▲31.7	▲35.9
売上DI	▲6.7	▲20.2	▲18.9	▲25.7	—	—
採算DI	▲21.4	▲27.7	▲25.6	▲31.7	—	—

総合の業況DIは、前期比7.6ポイント低下の▲27.9となった。

経営状況では、売上DIは前期比6.8ポイント低下の▲25.7、また、採算DIは同6.1ポイント低下の▲31.7となった。

今後の業況DIを見ると、3ヵ月後は現在比3.8ポイント低下の▲31.7、半年後は同8.0ポイント低下の▲35.9を見込んでいます。

#### (2) 業種別特徴

##### <製造業>

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	6.1	▲4.5	▲14.7	▲24.1	▲30.1	▲30.0
売上DI	5.8	▲16.7	▲19.3	▲25.1	—	—
採算DI	▲10.9	▲22.2	▲24.2	▲28.8	—	—

製造業の今期の業況DIは、前期比9.4ポイント低下の▲24.1となった。経営状況では、売上DIは、前期比5.8ポイント低下の▲25.1、採算DIは同4.6ポイント低下の▲28.8となった。「人材不足が継続している。若手社員の離職や雇用拡充の目途が立たない。働き方改革による生産の減少をIoTを駆使した効率強化で対応する。」「引き合いは増えているが、納期が無いのと受注単価が下がっている。」「海外の技術が向上し、仕事が確実に流れていっている。同業大手の撤退が続いている。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3ヵ月後は現在比6.0ポイント低下の▲30.1、半年後は同5.9ポイント低下の▲30.0を見込んでおり、「海外情勢の影響が出はじめている。特に韓国向けの機械も取り扱っているのが不安が募る。」「消費増税で10月からの受注量の低迷が続く。増税後は厳しくなりそうです。」「今後受注減、売上減が予想される。」「受注減少。低調はしばらく続きそう。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
一般機械	14.8	9.0	▲8.5	▲17.9	▲22.3	▲29.8
電気機械	▲3.7	▲10.4	▲22.6	▲33.3	▲39.7	▲37.7
輸送用機械	3.1	▲3.4	0.0	▲23.6	▲35.2	▲29.6
その他	7.8	▲10.6	▲21.4	▲23.4	▲27.9	▲25.9

中分類で見ると、一般機械は前期比9.4ポイント低下の▲17.9、電気機械は同10.7ポイント低下の▲33.3、輸送用機械は同23.6ポイント低下の▲23.6となった。

今後の業況DIは、3ヵ月後は一般機械が現在比4.4ポイント低下の▲22.3、電気機械が同6.4ポイント低下の▲39.7、輸送用機械は同11.6ポイント低下の▲35.2、半年後は一般機械が同11.9ポイント低下の▲29.8、電気機械が同4.4ポイント低下の▲37.7、輸送用機械は同6.0ポイント低下の▲29.6を見込んでいる。

### <建設業>

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	8.8	14.8	0.8	1.7	▲2.6	▲13.2
売上DI	9.4	15.4	▲11.2	▲7.8	—	—
採算DI	▲1.4	5.2	▲9.8	▲13.0	—	—

建設業の今期の業況DIは、前期比0.9ポイント上昇の1.7となった。

経営状況では、売上DIは前期比3.4ポイント上昇の▲7.8、採算DIは同3.2ポイント低下の▲13.0となった。

今後の業況DIは、3ヵ月後は現在比4.3ポイント低下の▲2.6、半年後は同14.9ポイント低下の▲13.2を見込んでおり、「東京五輪関係の工事が終息を迎え、競争が少しずつ激化している。」「オリンピック後というのが来年1月くらいが心配です。向こう2~3年のプロジェクトの設計依頼が激減。」「人材不足と材料の調達に遅れがきています。利幅の少ない中で安定した利益が確保できるように努めたい。」「周辺事業拡充により、シナジー効果が出ている。今後に関しても厳しいが、まだまだいけると思う。」といった声も聞かれた。

### <商業・サービス業>

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	▲30.8	▲34.1	▲29.9	▲37.1	▲39.3	▲45.3
売上DI	▲19.6	▲32.2	▲20.6	▲30.2	—	—
採算DI	▲34.0	▲40.0	▲30.8	▲37.9	—	—

商業・サービス業の業況DIは、前期比7.2ポイント低下の▲37.1となった。

経営状況では、売上DIは前期比9.6ポイント低下の▲30.2、採算DIは同7.1ポイント低下の▲37.9となった。「景況の低迷が長続き、一段と厳しい状況です。」「業界市況は、来年に向けて悪くなると思います。」「消費税の増税、最低賃金の上昇。10月以降が不安。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3ヵ月後は現在比2.2ポイント低下の▲39.3、半年後は同8.2ポイント低下の▲45.3を見込んでいる。「原油価格によって利益が上下する。国際情勢から目が離せない。」「今年も最低賃金が大幅な上昇となりました。原材料の値上がりも続いており原価の上昇を価格に反映させるよう算段中です。」「居酒屋の売上は前年より減少しており若者のアルコール離れのせい今後も期待できない。」「半年後が、楽しみです。補助金が採択されたので、新メニューの導入を宣伝、拡大が出来るので大幅な集客が見込まれる。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の業況DIは以下の通り。

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
卸売業	▲18.0	▲26.5	▲16.9	▲16.1	▲37.2	▲40.5
小売業	▲48.4	▲52.6	▲49.8	▲55.0	▲60.8	▲66.2
飲食店	▲41.7	▲37.5	▲10.8	▲40.0	▲42.0	▲46.4
サービス業	▲5.8	▲9.9	▲13.5	▲18.2	▲2.3	▲8.3

業種別では、卸売業は前期比0.8ポイント上昇の▲16.1、小売業は同5.2ポイント低下の▲55.0、飲食店は同29.2ポイント低下の▲40.0、サービス業は同4.7ポイント低下の▲18.2となった。

今後の業況DIは、3ヵ月後では卸売業が現在比21.1ポイント低下の▲37.2、小売業は同5.8ポイント低下の▲60.8、飲食店は同2.0ポイント低下の▲42.0、サービス業は同15.9ポイント上昇の▲2.3、半年後では卸売業が同24.4ポイント低下の▲40.5、小売業は同11.2ポイント低下の▲66.2、飲食店は同6.4ポイント低下の▲46.4、サービス業は同9.9ポイント上昇の▲8.3を見込んでいる。

### (3) 規模別特徴

		平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
		10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
中規模	業況DI	▲8.5	▲12.1	▲14.2	▲24.0	▲25.7	▲33.6
	売上DI	▲0.2	▲14.8	▲12.7	▲21.9	—	—
	採算DI	▲22.3	▲28.2	▲22.4	▲31.3	—	—
小規模	業況DI	▲17.1	▲23.0	▲27.2	▲32.7	▲39.1	▲38.7
	売上DI	▲14.0	▲26.6	▲26.0	▲30.3	—	—
	採算DI	▲20.5	▲27.1	▲29.2	▲32.1	—	—

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比9.8ポイント低下の▲24.0、小規模企業は同5.5ポイント低下の▲32.7となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比9.2ポイント低下の▲21.9、採算DIが同8.9ポイント低下の▲31.3、小規模企業は売上DIが同4.3ポイント低下の▲30.3、採算DIが同2.9ポイント低下の▲32.1となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3ヵ月後が現在比1.7ポイント低下の▲25.7、半年後が同9.6ポイント低下の▲33.6、小規模企業は3ヵ月後が同6.4ポイント低下の▲39.1、半年後が同6.0ポイント低下の▲38.7を見込んでいる。

(4) 地区別特徴

	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
横浜	▲14.9	▲16.0	▲18.7	▲21.9	▲24.2	▲28.8
川崎	▲10.0	▲16.8	▲12.9	▲23.4	▲32.1	▲30.5
横須賀	▲17.0	▲22.0	▲19.4	▲25.5	▲36.0	▲36.1
平塚	▲12.1	▲17.3	▲22.3	▲30.2	▲37.9	▲44.2
藤沢	▲18.4	▲24.0	▲22.2	▲39.2	▲39.2	▲42.7
相模原	▲4.2	▲11.1	▲23.4	▲28.9	▲26.7	▲35.6
厚木	▲3.8	▲1.8	▲15.9	▲20.9	▲27.3	▲32.4
足柄上・西湘	▲16.5	▲30.2	▲34.0	▲46.5	▲43.8	▲52.1

今期の地区別の業況DIは、

横浜地区（前期比3.2ポイント低下の▲21.9）、川崎地区（同10.5ポイント低下の▲23.4）、横須賀地区（同6.1ポイント低下の▲25.5）、平塚地区（同7.9ポイント低下の▲30.2）、藤沢地区（同17.0ポイント低下の▲39.2）、相模原地区（同5.5ポイント低下の▲28.9）、厚木地区（同5.0ポイント低下の▲20.9）、足柄上・西湘地区（同12.5ポイント低下の▲46.5）となり8地区全てで低下となった。

今後の業況DIは、3か月後は、

横浜地区（現在比2.3ポイント低下の▲24.2）、川崎地区（同8.7ポイント低下の▲32.1）、横須賀地区（同10.5ポイント低下の▲36.0）、平塚地区（同7.7ポイント低下の▲37.9）、藤沢地区（今期と同じ▲39.2）、相模原地区（同2.2ポイント上昇の▲26.7）、厚木地区（同6.4ポイント低下の▲27.3）、足柄上・西湘地区（同2.7ポイント上昇の▲43.8）となり2地区で上昇、1地区で今期と同じ、5地区で低下すると見込んでいる。

半年後は、

横浜地区（現在比6.9ポイント低下の▲28.8）、川崎地区（同7.1ポイント低下の▲30.5）、横須賀地区（同10.6ポイント低下の▲36.1）、平塚地区（同14.0ポイント低下の▲44.2）、藤沢地区（同3.5ポイント低下の▲42.7）、相模原地区（同6.7ポイント低下の▲35.6）、厚木地区（同11.5ポイント低下の▲32.4）、足柄上・西湘地区（同5.6ポイント低下の▲52.1）となり8地区全てで低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先

(公財) 神奈川産業振興センター (KIP)

(Kanagawa Industrial Promotion Center)

事業部経営総合相談課 藤田

TEL:045-633-5201 FAX:045-633-5194

URL <http://www.kipc.or.jp/> E-mail:soudan@kipc.or.jp

# 景気動向調査 (令和元年7月～9月期)

## 業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		366	116	87	231	70	133	521	1,003
業況判断	現在の業況	▲24.1	1.7	▲16.1	▲55.0	▲40.0	▲18.2	▲37.1	▲27.9
	3ヶ月後の業況	▲30.1	▲2.6	▲37.2	▲60.8	▲42.0	▲2.3	▲39.3	▲31.7
	半年後の業況	▲30.0	▲13.2	▲40.5	▲66.2	▲46.4	▲8.3	▲45.3	▲35.9
経営状況	売上	▲25.1	▲7.8	▲9.2	▲45.2	▲41.4	▲10.0	▲30.2	▲25.7
	採算	▲28.8	▲13.0	▲30.2	▲44.3	▲34.8	▲33.1	▲37.9	▲31.7
	引き合い/客数	▲17.3	▲2.6	▲12.6	▲47.2	▲37.7	▲23.3	▲34.0	▲24.2
	単価	▲12.6	0.9	▲19.5	▲33.6	▲33.8	▲26.2	▲29.4	▲19.7
	仕入価格	▲42.2	▲51.7	▲47.1	▲46.5	▲72.5	▲23.1	▲44.2	▲44.3
	資金繰り	▲22.1	▲9.5	▲18.4	▲37.0	▲31.9	▲22.6	▲29.5	▲24.5
	残業	▲24.9	▲9.5	▲9.2	▲15.9	▲14.5	▲23.7	▲16.6	▲18.8
	設備稼働	▲22.3	▲5.5	—	—	—	—	—	▲18.4
前期経営実績	売上水準	▲17.5	0.0	▲20.7	▲45.9	▲30.4	▲17.3	▲32.3	▲23.2
	利益水準	0.8	15.5	9.2	▲31.3	▲7.2	▲17.6	▲17.8	▲7.1
	在庫	7.6	0.0	12.9	8.4	4.4	▲37.5	▲3.0	1.2
	投資	▲7.4	▲0.9	▲1.2	▲17.0	▲5.9	▲25.8	▲15.2	▲10.7
	雇用状況	▲21.1	▲49.6	▲14.0	▲13.1	▲37.7	▲24.8	▲19.6	▲23.6

## 参考<前回調査> 景気動向調査 (令和元年4月～6月期)

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		368	134	89	225	67	129	510	1,012
業況判断	現在の業況	▲14.7	0.8	▲16.9	▲49.8	▲10.8	▲13.5	▲29.9	▲20.3
	3ヶ月後の業況	▲25.7	▲12.9	▲25.0	▲50.5	▲30.3	▲0.8	▲30.7	▲26.5
	半年後の業況	▲25.0	▲16.9	▲34.5	▲58.3	▲37.9	▲4.5	▲38.7	▲30.7
経営状況	売上	▲19.3	▲11.2	▲14.6	▲34.7	▲4.5	▲7.0	▲20.6	▲18.9
	採算	▲24.2	▲9.8	▲24.7	▲38.8	▲13.4	▲30.0	▲30.8	▲25.6
	引き合い/客数	▲15.9	▲10.5	▲14.8	▲37.3	0.0	▲16.5	▲23.3	▲18.9
	単価	▲7.1	4.5	▲21.6	▲31.1	▲10.4	▲18.5	▲23.6	▲13.8
	仕入価格	▲46.7	▲47.4	▲49.4	▲52.5	▲67.2	▲17.2	▲45.3	▲46.1
	資金繰り	▲18.3	▲7.5	▲14.8	▲32.4	▲17.9	▲25.6	▲25.7	▲20.6
	残業	▲24.3	▲9.8	▲14.8	▲16.3	▲15.9	▲28.1	▲19.0	▲19.7
	設備稼働	▲20.5	▲8.5	—	—	—	—	—	▲17.4
前期経営実績	売上水準	5.4	16.4	▲12.5	▲43.8	▲17.9	▲10.2	▲26.4	▲9.1
	利益水準	20.9	32.1	6.8	▲29.1	0.0	▲11.8	▲14.7	4.6
	在庫	8.7	0.0	4.7	5.0	0.0	▲40.0	▲6.7	▲0.2
	投資	▲2.2	▲7.1	▲3.5	▲18.9	▲9.2	▲23.4	▲16.2	▲9.8
	雇用状況	▲25.3	▲48.5	▲22.7	▲12.8	▲44.8	▲21.8	▲21.1	▲26.3

## 規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		196	170	59	57	298	223	553	450
業況判断	現在の業況	▲26.7	▲21.2	13.6	▲10.5	▲29.6	▲47.1	▲24.0	▲32.7
	3ヶ月後の業況	▲29.9	▲30.4	6.8	▲12.5	▲29.5	▲52.5	▲25.7	▲39.1
	半年後の業況	▲29.4	▲30.7	▲13.6	▲12.7	▲40.6	▲51.6	▲33.6	▲38.7
経営状況	売上	▲24.5	▲25.9	▲1.7	▲14.0	▲24.2	▲38.1	▲21.9	▲30.3
	採算	▲30.8	▲26.6	▲6.8	▲19.6	▲36.6	▲39.5	▲31.3	▲32.1
	引き合い/客数	▲17.3	▲17.2	3.4	▲8.9	▲26.9	▲43.4	▲20.3	▲29.1
	単価	▲12.2	▲13.0	▲3.5	5.3	▲25.0	▲35.1	▲18.2	▲21.7
	仕入価格	▲39.8	▲45.0	▲50.8	▲52.6	▲40.4	▲49.1	▲41.3	▲48.0
	資金繰り	▲18.9	▲25.9	0.0	▲19.3	▲24.2	▲36.5	▲19.7	▲30.3
	残業	▲24.5	▲25.3	▲3.4	▲15.8	▲15.5	▲18.0	▲17.4	▲20.5
	設備稼働	▲21.8	▲22.9	0.0	▲11.5	—	—	▲16.7	▲20.3
前期経営実績	売上水準	▲16.3	▲18.8	11.9	▲12.3	▲23.6	▲43.9	▲17.2	▲30.4
	利益水準	9.2	▲8.8	32.2	▲1.8	▲3.4	▲36.8	4.9	▲21.8
	在庫	11.0	3.7	1.8	▲2.0	0.3	▲7.3	4.3	▲2.5
	投資	▲6.7	▲8.2	6.9	▲9.1	▲9.0	▲23.3	▲6.5	▲15.8
	雇用状況	▲21.4	▲20.7	▲52.5	▲46.4	▲22.3	▲15.9	▲25.2	▲21.6

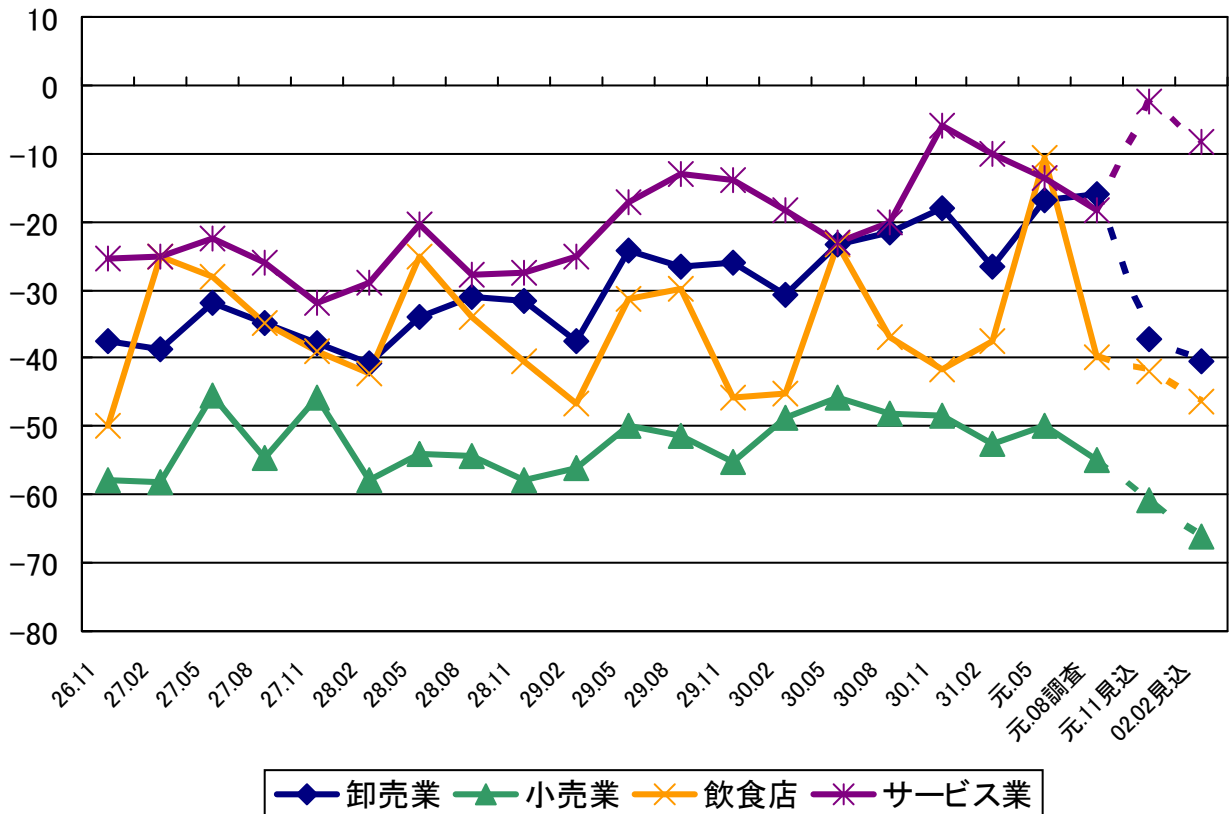
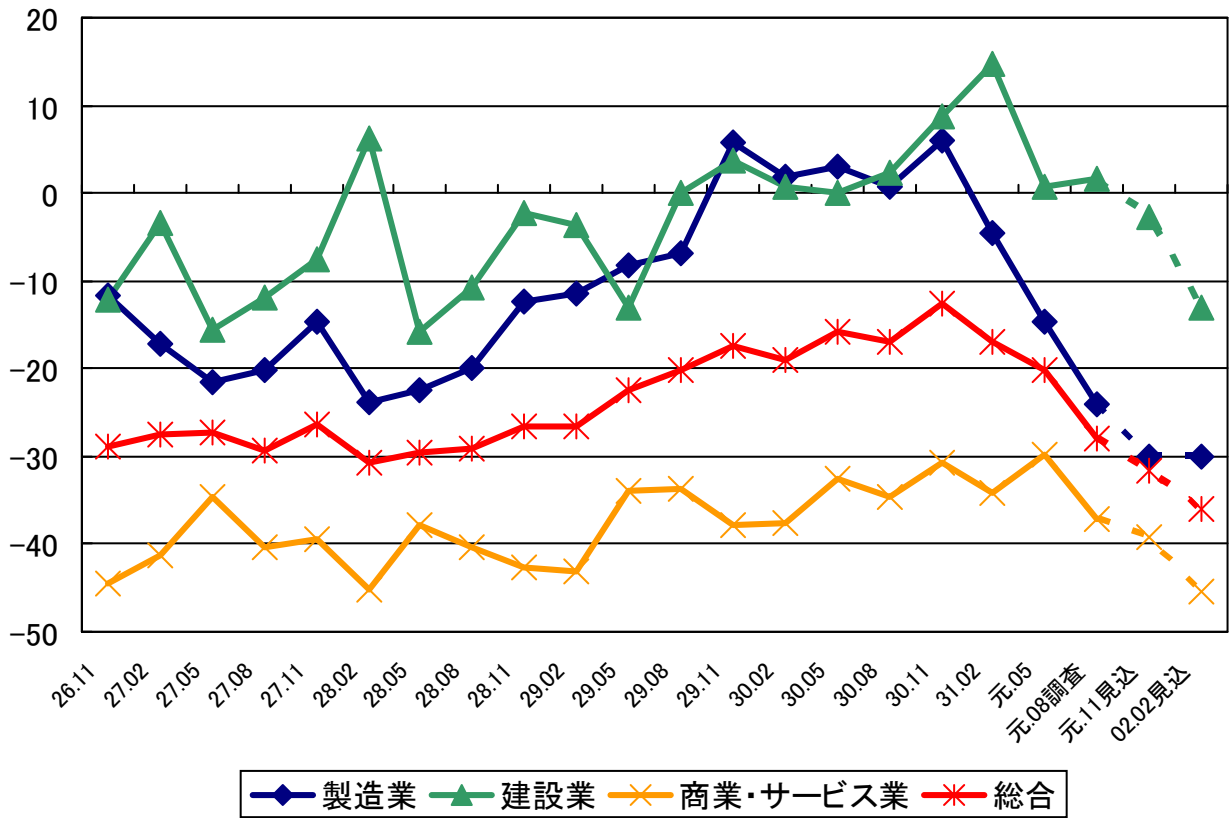
## 地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		270	137	102	96	97	90	111	100	1,003
業況判断	現在の業況	▲21.9	▲23.4	▲25.5	▲30.2	▲39.2	▲28.9	▲20.9	▲46.5	▲27.9
	3ヶ月後の業況	▲24.2	▲32.1	▲36.0	▲37.9	▲39.2	▲26.7	▲27.3	▲43.8	▲31.7
	半年後の業況	▲28.8	▲30.5	▲36.1	▲44.2	▲42.7	▲35.6	▲32.4	▲52.1	▲35.9
経営状況	売上	▲20.7	▲26.5	▲30.6	▲19.8	▲37.5	▲27.8	▲11.9	▲40.8	▲25.7
	採算	▲26.1	▲28.9	▲39.8	▲28.1	▲39.6	▲28.1	▲34.5	▲38.4	▲31.7
	引き合い/客数	▲14.1	▲26.5	▲31.0	▲21.9	▲38.1	▲30.0	▲9.9	▲41.4	▲24.2
	単価	▲14.2	▲17.9	▲31.3	▲15.8	▲19.8	▲16.7	▲15.3	▲37.0	▲19.7
	仕入価格	▲44.6	▲38.2	▲47.0	▲44.2	▲42.3	▲47.2	▲41.4	▲52.0	▲44.3
	資金繰り	▲16.7	▲19.0	▲31.7	▲18.8	▲26.8	▲37.8	▲20.7	▲41.0	▲24.5
	残業	▲17.5	▲16.1	▲23.8	▲13.7	▲20.6	▲21.6	▲15.6	▲25.0	▲18.8
	設備稼働	▲15.1	▲20.3	▲27.5	▲4.3	▲29.3	▲18.9	▲14.3	▲27.0	▲18.4
前期経営実績	売上水準	▲17.8	▲21.2	▲20.6	▲20.8	▲34.0	▲28.9	▲13.5	▲40.4	▲23.2
	利益水準	▲2.2	1.5	▲10.8	▲8.3	▲6.3	▲16.7	0.0	▲27.6	▲7.1
	在庫	0.4	2.9	7.3	▲1.1	▲7.4	5.6	1.8	1.0	1.2
	投資	▲9.1	▲9.6	▲7.0	▲7.4	▲14.9	▲11.1	▲11.7	▲17.5	▲10.7
	雇用状況	▲19.1	▲26.9	▲34.3	▲22.6	▲21.6	▲19.1	▲22.9	▲28.6	▲23.6

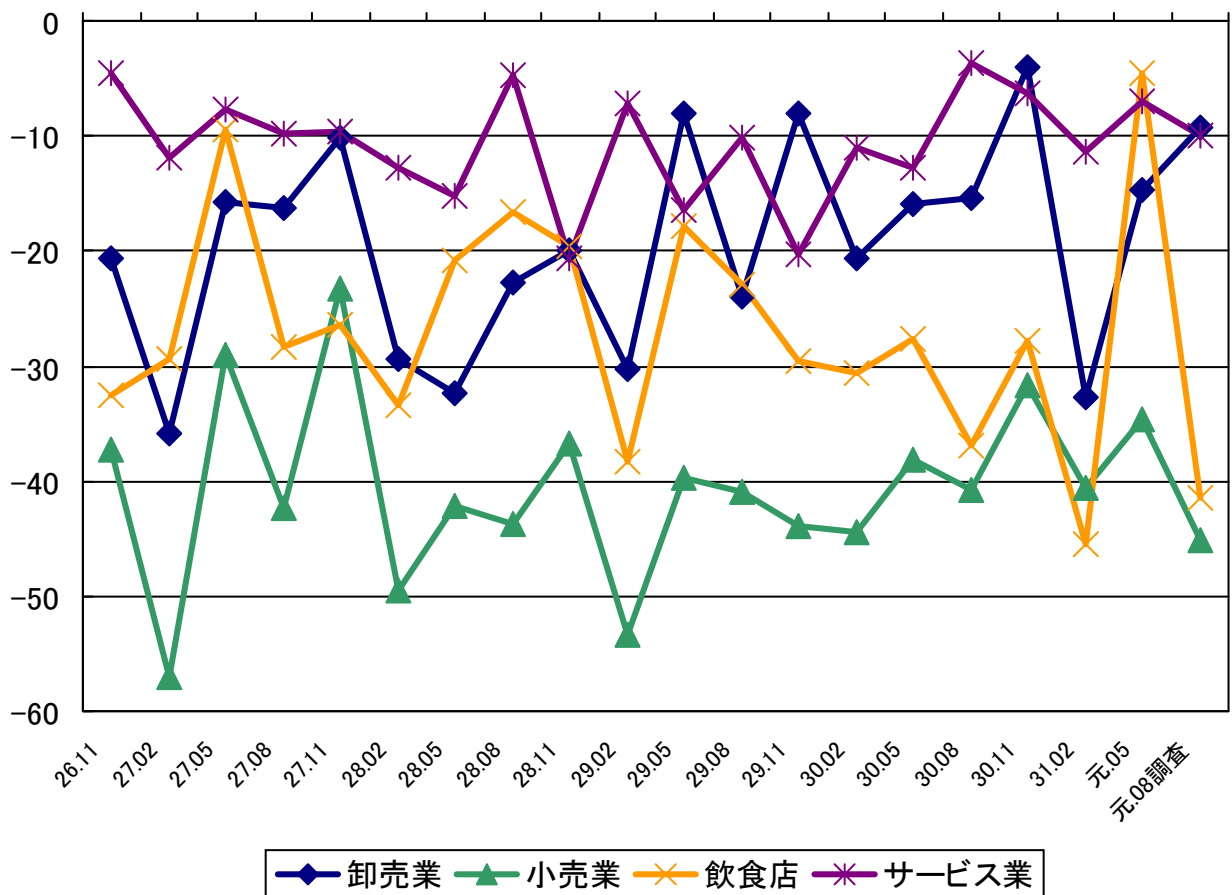
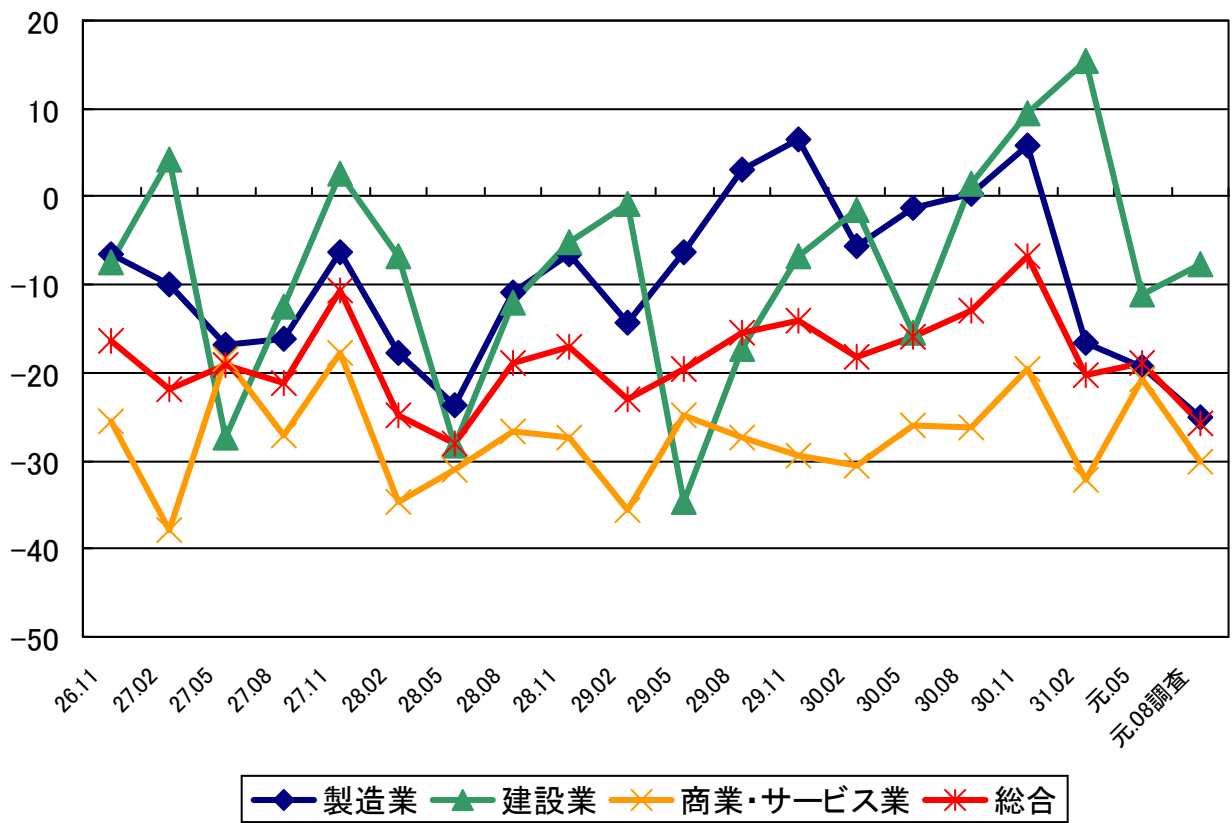
## 製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		95	79	55	137	366
業況判断	現在の業況	▲17.9	▲33.3	▲23.6	▲23.4	▲24.1
	3ヶ月後の業況	▲22.3	▲39.7	▲35.2	▲27.9	▲30.1
	半年後の業況	▲29.8	▲37.7	▲29.6	▲25.9	▲30.0
経営状況	売上	▲18.9	▲30.4	▲30.9	▲24.1	▲25.1
	採算	▲21.5	▲31.6	▲32.7	▲30.7	▲28.8
	引き合い/客数	▲23.2	▲13.9	▲22.2	▲13.1	▲17.3
	単価	▲6.3	▲20.3	▲9.1	▲14.0	▲12.6
	仕入価格	▲38.9	▲43.0	▲32.7	▲47.8	▲42.2
	資金繰り	▲21.1	▲19.0	▲23.6	▲24.1	▲22.1
	残業	▲21.1	▲29.1	▲18.2	▲27.7	▲24.9
	設備稼働	▲20.2	▲15.4	▲23.6	▲27.2	▲22.3
前期経営実績	売上水準	▲9.5	▲25.3	▲14.5	▲19.7	▲17.5
	利益水準	1.1	▲5.1	12.7	▲0.7	0.8
	在庫	5.7	8.9	11.8	6.6	7.6
	投資	2.1	▲11.4	▲7.3	▲11.7	▲7.4
	雇用状況	▲30.5	▲17.7	▲21.8	▲16.2	▲21.1

# 業況DIの推移

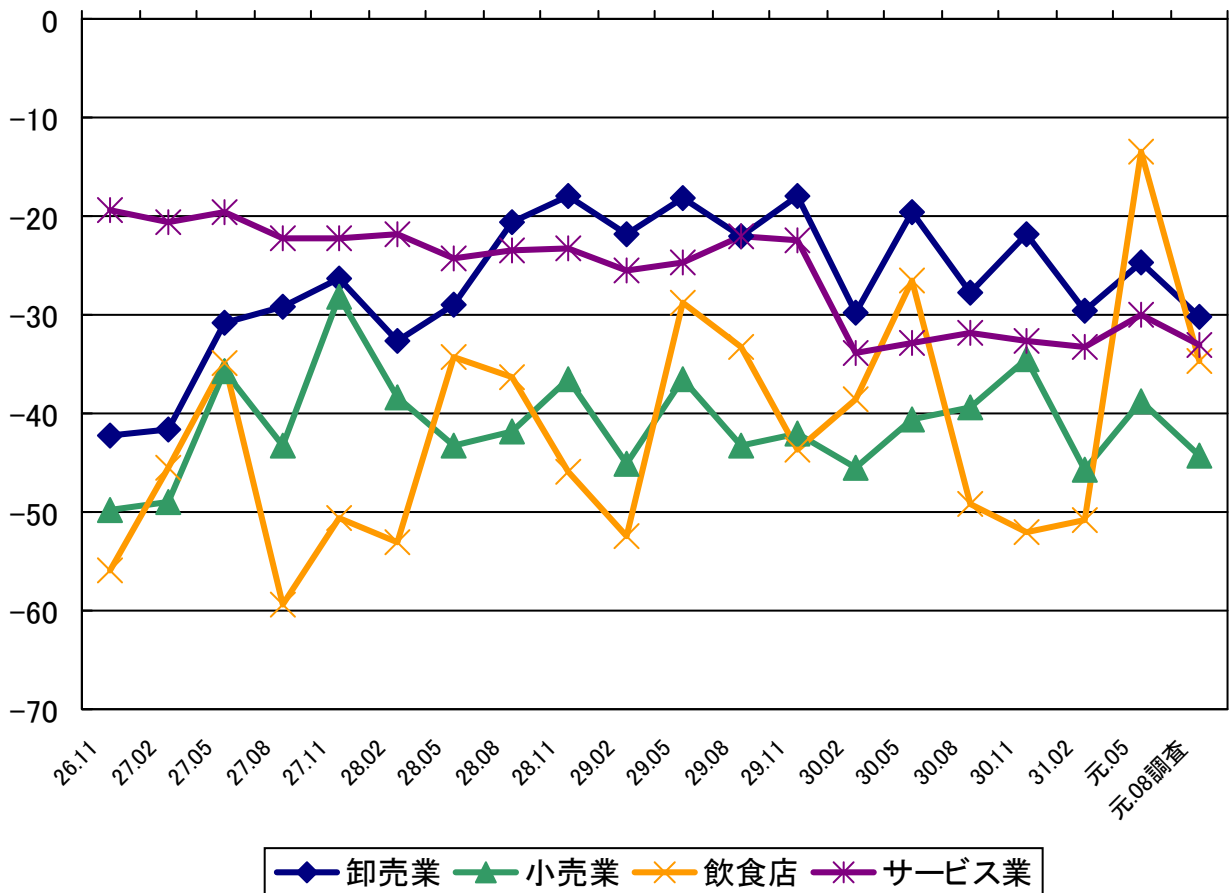
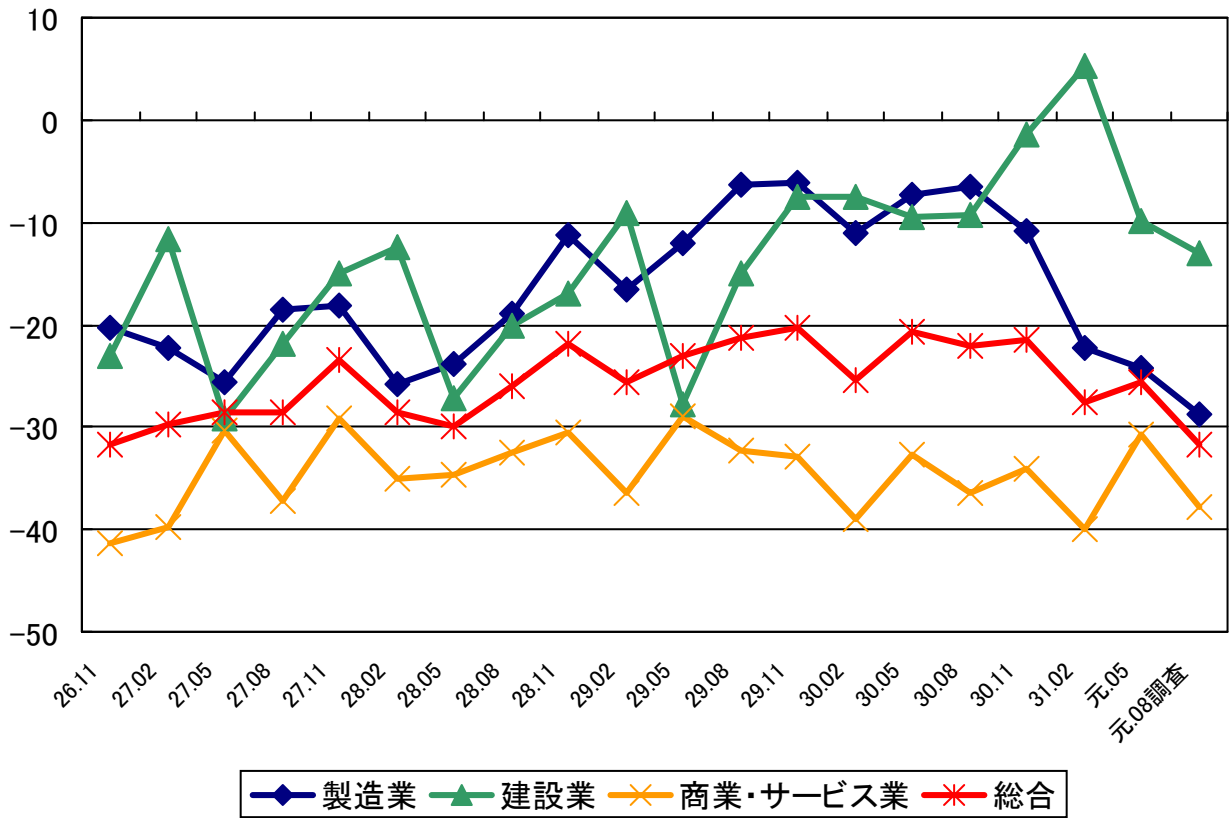


# 売上DIの推移

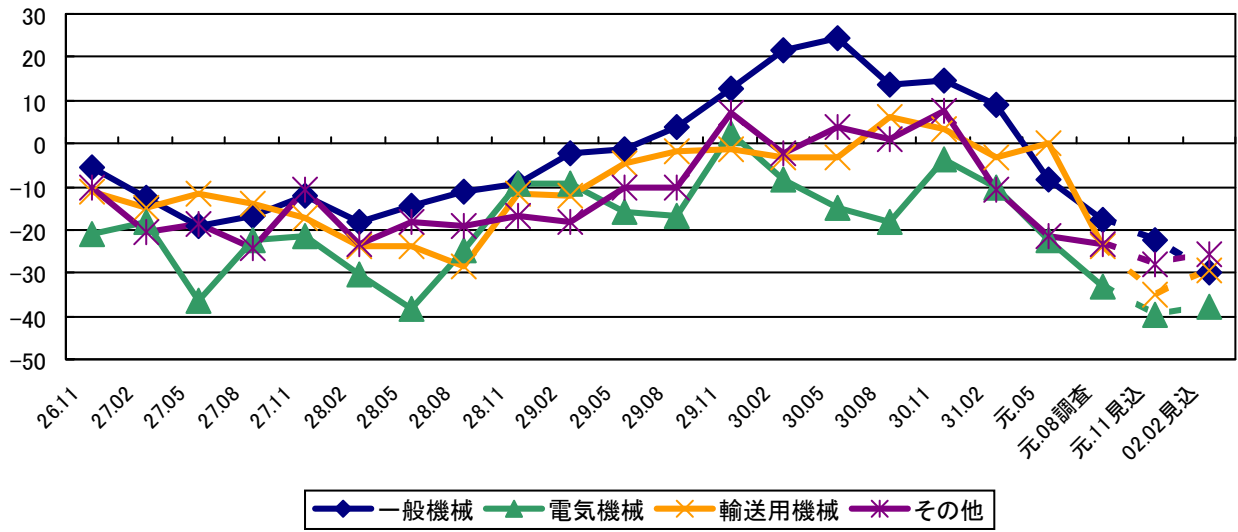




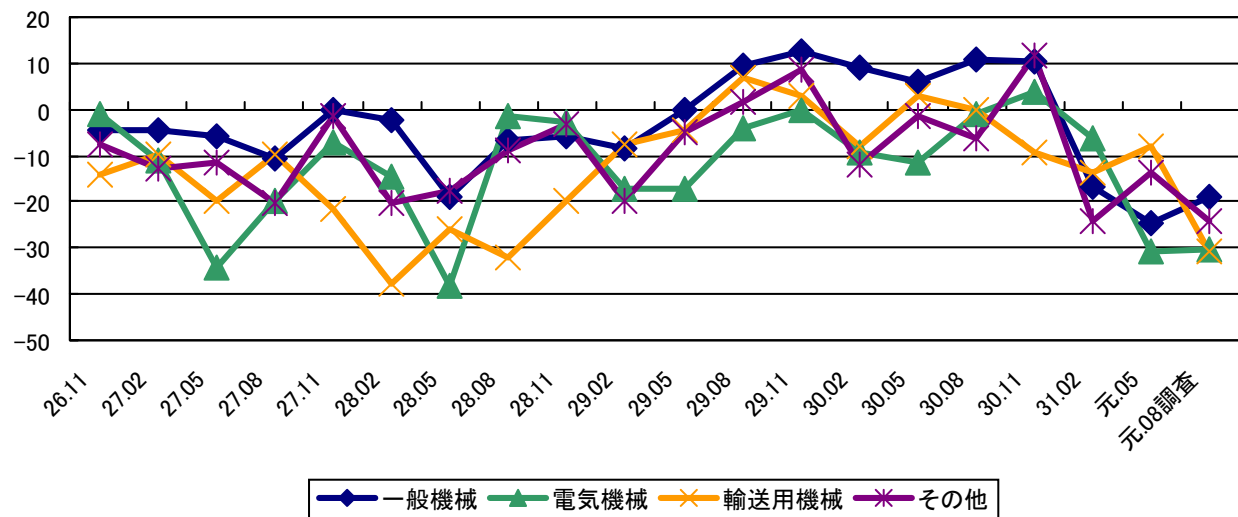
# 採算DIの推移



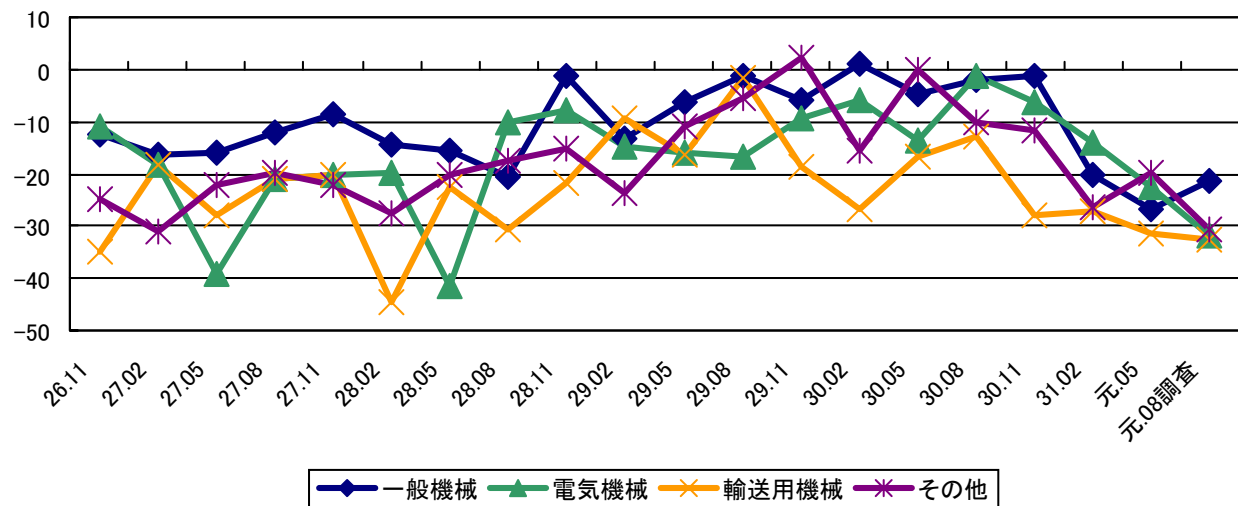
### 製造業(中分類)業況DIの推移



### 製造業(中分類)売上DIの推移



### 製造業(中分類)採算DIの推移



<製造業>

「アフターパーツの需要の増加で、年内までは好調を維持できる。年明け以降はこの特需も終わる可能性もあり、先行きはまだ見えない状況にある。」
「本業以外の業績が好調で今後も成長が見込まれる。」
「受注減少。低調はしばらく続きそう。」
「今後受注減、売上減が予想される。」
「消費増税で10月からの受注量の低迷が続く。増税後は厳しくなりそうです。」
「海外情勢の影響が出はじめている。特に韓国向けの機械も取り扱っているので不安が募る。」
「海外の技術が向上し、仕事が確実に流れていっている。同業大手の撤退が続いている。」
「従業員の年齢が高いので(平均71歳)、仕事を控えています。」
「消費税も10月より10%となる為、先が見えにくい。」
「全ての分野で仕事が大幅に減っている。リーマンショック以来の落ち込みと感じられる。」
「受注が不安定。」
「理由はわかりませんが、パタッと動きが止まっています。今までと同様では待ちの体制となってしまうので、新規部門の立ち上げの営業活動をしています。10月の消費税の変更で動きが出るかも。」
「中国に關与する自動車部品の減産が大きい。消費税UPの影響が心配。」
「得意先の生産コスト削減がきつくなっている為、注文が減っている。」
「人材不足が継続している。若手社員の離職や雇用拡充の目途が立たない。働き方改革による生産の減少をIoTを駆使した効率強化で対応する。」
「消費税増税に伴い取引先からインボイスの発行を求められた場合、現在の非課税業者から課税業者とならなくてはならず、新たな税負担から事業の存続が危ぶまれる。他の零細企業も同じ状況ではないか。」
「引き合いは増えているが、納期が無いのと受注単価が下がっている。」

<建設業>

「施工依頼は増えているが、人手不足で受注出来ない。」
「客先の製品増産の為、設備投資が2020年中頃迄続く予定との事。それ迄は良いがその先は未定。それにしても米中問題が心配である。」
「東京五輪関係の工事が終息を迎え、競争が少しずつ激化している。」
「オリンピック後というが来年1月くらいが心配です。向こう2~3年のプロジェクトの設計依頼が激減。」
「仕事の見通しがつかない。息継ぎが出来ない。」
「入札はしているが、くじ引きになるためなかなか落札ができない。」
「大工が不足している為、現場を取りたいが取れない。監督も同様です。人手の確保が難しい。中小企業は不利です。大企業に全て取られていく。」
「今迄普通→これから大競争になりつつある。」
「周辺事業拡充により、シナジー効果が出ている。今後に関しても厳しいが、まだまだいけると思う。」
「人材不足と材料の調達に遅れがきています。利幅の少ない中で安定した利益が確保できるように努めたい。」
「人材の募集をしているが、採用出来ない状況にある。」

<卸売業>

「特定の得意先様が好調ですが、先行きは不透明です。」
「消費税の増税、最低賃金の上昇。10月以降が不安。」
「サプライヤーとの新製品開発中。」
「今年後半あまりよくないと思われます。」
「航空機関係ユーザーが今後活況となる見通し。」
「業界市況は、来年に向けて悪くなると思います。」
「景況の低迷が長続き、一段と厳しい状況です。」
「新商品の今後の売れ行きについて左右される。」
「業績は、向上する方向性を示している。懸念は、仕入先の物流コストが一斉値上げされたこと(15%程度のアップ)。得意先にご負担いただけるか否かが鍵を握る。」
「消費増税、米中、中東等、不安要素大。」
「お客様によって増減ありますが、大きな変化がない見込みです。」
「照明は(LED化) 下降。電子部品向け材料も最近は下降。」
「働き方改革等で人が足りません。中小企業の事を考えていない。」
「飲料水の大手小売業での乱売り低価格販売。」

<小売業>

「店舗投資したいが、資金無し。」
「今年も最低賃金が大幅な上昇となりました。原材料の値上がりも続いており原価の上昇を価格に反映させるよう算段中です。」
「原油価格によって利益が上下する。国際情勢から目が離せない。」
「酷暑の夏、人が町を歩かない。10月は消費税の値上げに伴いレジの買替えなど、重い負担がのしかかってくる。小企業は大変である。」
「数社のクレジット会社と取引があり、各社ごとにキャッシュレス、消費者還元の手続きがwebが主でよくわからない。VISAとJCBのみ残し、他の会社とは中止にしようかと思う。」
「若い世帯は増えるものの共働きが多く、人通りない。10月からの増税により非常に厳しくなると思う。」
「私共の客は高齢者が多く年金暮らしが大多数。購入意欲が弱く、また、生活不安が大多数。これでは売上UPは見込めない。」
「GW以降非常に悪い。軽減税率対応レジを導入するために、必要のない投資をさせられ、今後資金繰りが苦しくなる。政府は何を考えているのでしょうか。」
「不調続き商店街に人が歩いていない。必要な物しか買わない。セール品しか買わない。トントンか赤字。10月以降が心配です。対策方法を考え中ですが。」
「今年は雨が多く天候不順の為、売上がかなり少ない。」
「消費税は、無くすべき。価格表示が色々あると購買意欲が下がる気がする。(店舗間)ポイント還元は年配の方々に負担多過ぎ。店客相方に疑心暗鬼を進ませる事になる。大手至上主義に拍車がかかる。」
「大きなスーパーが閉店してしまい、お客さんの流れが変わり、人通りがなく来店者が少なくなりました。」
「消費税増税等、良い材料はない。」
「異常気象により外出を控える。年金収入の減少。消費税アップによる先行不安。」
「相見積りが多くて、昨年より受注全額が下がっている。今後も受注金額が落ちてくると予測する。」

<飲食店>

「夜が全くだめ、悪くなるばかり。」
「やはり消費税10%になった後の景気が心配です。」
「求人をしてしても集まらない。カードの利用が増えて手数料の負担が大きくなっている。」
「消費税増税の影響は大変だと思いますよ。」
「人手不足です。」
「最低賃金が高く、社会保険等もきびしく、経営に影響が大きい。しかも仕入値は高騰し、存続は難しい。」
「現状も良くならないが、消費税により売上減の予想が。」
「居酒屋の売上は前年より減少しており若者のアルコール離れのせい今後も期待できない。」
「箱根火山(大涌谷)レベル2の影響で売上が下がっている。」
「10月より消費税10%になり売上の減少、仕入れ価格の高騰等の件。消費税等の受注転嫁できない。」

<サービス業>

「人手不足が深刻である。5年後の定年者を考えると人手不足から、特に若い子の不足が深刻になる。」
「相場下落、人件等の高騰。」
「競争により客単価が下がっている。今後は厳しい。」
「今年度中、同じ商圈内の同業者の廃業により客数の増加がある。10月の消費税変更による客数の増減が見込まれる。料金改定したい。」
「第2東名工事関係者様のご宿泊、インバウンド様も増加。」
「レディースシェービングをメディアで伝えてくれたおかげで、レディースシェービングをするお客様が来店しました。シェービングの良さをもっと伝えて欲しいです。」
「顧客の高齢化と保有車両の老朽化が進み代替えを進めているが、思うように代替えに繋がらず困っている。」
「中小にとって最低賃金の急上昇は頭が痛い。」
「同業他者が相次いで廃業の為、増益になっているが、最大の顧客の売上げが減少している。」
「整備士の不足で予約の受け入れが困難。」
「業績は、悪くない。1年後のオリンピックの関係もあまりよくなるといった感じ。」
「半年後が、楽しみです。補助金が採択されたので、新メニューの導入を宣伝、拡大が出来るので大幅な集客が見込まれる。」